

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
河川事業	17	二級河川 相川 広域基幹河川改修	津市		<p>【全体事業概要】 全体事業費 169.0億円 計画延長 L=8,079m(相川+天神川合計) 築堤 9,756m 護岸 14,996m</p>	H3	16,900	29.3%	<p>【実施事業内容】 築堤 1,944m 掘削 22,047m³ 護岸 1,734m 道路橋 5橋 水路橋 2橋 堰 1基 用地買収 29,000m² 物件補償 1式</p> <p>【以降実施内容】 築堤 7,812m 掘削 518,444m³ 護岸 13,262m 道路橋 20橋 鉄道橋 3橋 堰 2基 用地買収 146,000m²</p>	<p>自然環境に対する意識の高まり 財政状況の変化</p>	<p>B/C = 10.7 新技術、新工法の導入によりコスト削減に努めます。</p>	<p>下流部の築堤工事に着手しており、今後整備が進むにつれ効果が発現します。今後の課題は川幅が狭くなっている中流部のJR紀勢線橋梁架替等が挙げられます。</p>	<p>審査を行った結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。</p>
					<p>【事業目的】 氾濫による家屋や事業所、水田の浸水被害を防止するため、川を拡げ、護岸等を整備する河川改修事業を実施しております。</p>	H45	7,095	28.5%					
河川事業	18	一級河川 名張川 広域一般河川改修	名張市		<p>【全体事業概要】 全体事業費 17.77億円 計画延長 L=2,300m 築堤 3,160m 護岸 2,850m</p>	H3	1,777	34.4%	<p>【実施事業内容】 築堤 595m 掘削 51,200m³ 護岸 595m 道路橋 1橋 用地買収 17,036m² 物件補償 1式</p> <p>【以降実施内容】 築堤 2,565m 掘削 112,800m³ 護岸 2,255m 道路橋 2橋 堰 2基 水路 610m 用地買収 2,964m²</p>	<p>自然環境に対する意識の高まり 財政状況の変化</p>	<p>B/C = 1.8 新技術、新工法の導入によりコスト削減に努めます。</p>	<p>厳しい財政状況であるものの、小学校、郵便局等の公共施設、人家が密集している長瀬橋上流左岸の改修をすすめ治水安全度の向上を図ります。</p>	<p>審査を行った結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、名張川における過去の災害実績を調査するなど、護岸の必要な箇所を十分精査のうえ極力コスト削減に努めるよう求めるものである。また、工期については、現計画から延期の可能性が否定できないと考えられた。したがって、計画期間の考え方について整理の上、年度内に改めて説明されたい。</p>
					<p>【事業目的】 氾濫による家屋や事業所、水田の浸水被害を防止するため、川を拡げ、護岸等を整備する河川改修事業を実施しております。</p>	H25	170	94.9%					

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
海岸事業	19	五ヶ所港海岸 海岸環境整備	南伊勢町		<p>【全体事業概要】 護岸:L= 320m 突堤:L= 245m 離岸堤:L= 163m 人工海浜:V=98,000m3 遊歩道:V= 5,000m2 (埋立含む) 植栽:A= 1,660m2</p>	H 8	2,053	53.2%	護岸 91.0% 突堤 100.0% 潜堤 51.2% 人工海浜 30.0% 遊歩道、植栽 35.2%	海水浴場の利用者人口は年々減少傾向となっており、依然として多くの人々が利用している。 当事業の海水浴場は単独で存在するのではなく、海洋性レクリエーションの1つのメニューとして、他レクリエーションとの相乗効果を発揮することで、今後も利用者を確保できると考えています。	【費用便益費】 B / C = 1.21 【コスト削減】 他事業の建設発生土を流用することにより工事費約30百万円の縮減を図っている。 【代替案の検討】 当事業を南伊勢町(旧南勢町)で実施することは妥当と考えております。	事業費の確保を図りながら、早期に事業効果の発現が出来るように努めてまいります。	審査を行った結果、次の点について説明が不足しており事業継続の妥当性を判断できなかった。 一、事業採択当時の投資効果の考え方 一、周辺の海岸利用者現況数及び計画施設との競合の考え方 一、利用予測者数が20,000人と想定する根拠 一、駐車場及びトイレなどの施設整備計画の費用を含む概要説明 一、維持管理費の客観的根拠 一、海水浴場の競合性を踏まえた利用者予測 一、当該計画における生態系へ配慮した事項 一、現状と比較して事業完了後に変化する水質(透明度)の論理的かつ定量的な影響 一、利用者予測に基づくアクセス道路の考え方 したがって、これらを説明できる資料の提出を待って再審議とする。
							2,053	53.2%					
						H 22	-	-					

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	箇所	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
河川事業	112	準用河川 朝明新川 総合流域防災事業	四日市市		<p>【全体事業概要】 全体事業費 11.7億円 計画延長 L=900m 築堤 1,170m 護岸 870m</p>	H3	1,171	51.8%	<p>【実施事業内容】 築堤 190m 掘削 4,900m³ 護岸 190m 道路橋 1橋 堰 1基 水道管 1箇所 用地買収 14,142m² 物件補償 1式 【以降実施内容】 築堤 980m 掘削 27,600m³ 護岸 680m 床固工 1基 道路橋 2橋 堰 1基 用地買収 458m²</p>	<p>全体計画の変更 事業環境の変化 財政状況の変化</p>	<p>B/C = 4.7 現地発生土の有効 利用や施設の見直し 等、更なるコスト削減 に努めます。</p>	<p>厳しい財政状況であるものの、随時、改修をすすめ治水安全度の向上を図ります。</p>	<p>審査を行った結果、次の点について説明が不足していたため事業継続の妥当性を判断できなかった。 一、多自然型工法の必要性及び経済性を含めた現計画断面の妥当性 したがって、これらを説明できる資料の提出を待って再審議とする。</p>
						H25	531	64.2%	<p>【事業目的】 氾濫による家屋や事業所、水田の浸水被害を防止するため、川を拡げ、護岸等を整備する河川改修事業を実施しております。</p>				

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
土地区画整理事業	113	津駅前北部地区	津市		<p>【全体事業概要】 都市計画道路4路線 L=961m 区画道路 L=2,139m 特殊道路 L=195m 排水路 L=32m 公園2箇所 A=3,500m² 建物移転 232戸 減価補償 A=7,900m² 下水道(雨水) L=3,310m</p>	H8	15,576	31.5%	<p>区画道路 L = 98m 建物移転 100戸 減価補償 A = 7,900m² 下水道(雨水) L = 434m</p>	<p>【全体計画の変更】 当初は、津駅西地区との一体性を高めるため跨線道路橋計画と整合を図るような道路計画を行っていましたが、事業計画認可後、地元住民から安全上、既存踏切の幅幅による平面交差にしてほしいとの要望があり、鉄道管理者との協議の結果、跨線道路橋計画が見直されました。その後、換地設計に係る地元住民との協議に時間を要したため、仮換地指定が3年遅れましたので施行期間を4ヶ年延伸しました。</p>	<p>土地区画整理事業 費用便益比 B/C = 1.03 街路事業 費用便益比 B/C = 1.98 コスト削減 平成15年度より、移転対象者には仮設住宅への入居を提案しており、多数の入居希望を頂いております。これにより、平成15年度から平成21年度の移転対象者に支払うアパート等の仮住居費を削減することが可能となっております。路盤工に再生資源として再生クラッシュランを使用し、約700万円のコスト削減となりました。</p>	<p>仮換地指定後すぐに建物移転を行い、公共施設整備の準備を進めています。 建物移転は平成21年度、事業全体は平成22年年度に完了予定です。</p>	<p>審査を行った結果、次の点について説明が不足していたため事業継続の妥当性を判断できなかった。 一、商業業務拠点と歴史的環境保全を踏まえた街の将来ビジョン 一、道路の配置及び幅員の決定根拠 一、下部田垂水線の実現性 一、施工前の用途別状況及び当事業の土地利用計画 一、資金回収の考え方 一、住民検討委員会の構成メンバー したがって、現況写真を含めこれらを説明できる資料を待って再審議とする。</p>
						H22	-	-					

平成17年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		総事業費	事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題等	委員会意見等
						当初	最終							
水源森林総合整備事業	501	安芸郡美里村大字桂畑	美里村	[全体事業概要] ・全体事業量 溪間工 15基 山腹工 1.27ha 森林整備 54.4ha a ・全体事業費 830,308千円	H4		H11	852	・費用対効果 便益(B) = 1,863,591千円 費用(C) = 1,245,245千円 B / C = 1.50 ・事業完了後は、桂畑川の河川氾濫による人家や農地への被害はありません。 ・林道瀬戸線については、林道を横断する渓流上部からの土砂流出による排水管の閉塞などの多数の被害を受けていましたが、事業完了後は被害が無くなりました。	・間伐材を利用した木筋工や木柵工、ウッドブロックを施工し、将来、在来種の植生の侵入を期待するとともに材料が腐朽し土壌に還元されるよう環境保全に努めています。 ・緑化が可能な箇所については、早期緑化が図れるように努めています。 ・通常のもルタル吹付工に比べて、将来、周辺植生の侵入が期待できる特殊もルタル吹付工を採用し、景観配慮に努めています。	・美里村の人口の変化は、全体で事業開始年度の平成4年度時に比べ約7%減少しており、桂畑地区では約17%減少しています。 ・利水施設の変化については、事業開始時の中野簡易水道は、中野・桂畑地区に給水が行っていましたが、近年の生活様式の変化により水需要の安定供給を図るべく、高宮簡易水道(三郷・五百野・南長野・足坂地区に給水)と統合し、平成13年度から給水を開始しています。	・桂畑、南長野、中野地区の3集落を対象に、森林の役割、事業の認識度、事業効果、事業満足度や提案、意見を把握するため、アンケート調査を実施しました。 ・事業の認識度は89%、事業効果が96%、事業に対する満足度56%でしたが、桂畑地区では、事業認識度89%、事業満足度78%と高く評価され事業への理解がなされたと判断します。	・森林整備(複層林造成)について、獣害等により一部、植栽木の成長が阻害され補植する箇所がありました。今後も森林の状況を的確に把握しながら適正な保育管理を行ってまいります。 ・一方、本県の厳しい財政状況により、年々治山事業予算が減少する中、自然環境に配慮し更なるコスト削減を図り効率的・効果的な実施が必要となります。 ・今後の治山事業を実施していくうえで、アンケート結果からの回答を反映した事業展開ができるように努めます。	審査を行った結果、事後評価の妥当性が認められたことから課題に対する対応方針を了承する。 ただし、事業効果の検証を可能な限り実施し費用便益計算の妥当性を県民に定量的な説明をできるように努められたい。
							H11	830						
				[事業目的] 水資源の確保上、重要な水源地の荒廃した渓流や山腹の復旧整備とあわせて周辺森林の整備を総合的に実施し、水源かん養機能の回復・向上を図るとともに、県土の保全を図る。	-									